夕刊 磐城新聞

二月二十日發行

定價 一部金五錢 一ケ月金六拾五錢(郵稅拾五錢)
廣告料金 普通欄一行金六拾錢 特殊欄一行金九拾錢 (五號十二字詰一行一回) (場所指定一行增拾錢)
編輯印刷兼發行人 柏木初 福島縣石城郡平町田町十六番地
發行所 磐城新聞合資會社
登錄受信略號(タイライワキ) 平局私書函第十二號 電話五六四番

(日曜祭日翌日休刊)

舊き世界を顧る

赤井嶽男

十四

K女の思ひ出

(大正一一、七、一九記)

(承前)—半歳鎖した氷が解けてオホーツクの水平線紫に潮騒る大正五年の春淺く、鰊漁季には間も無い乍ら、鈴・(豊原近郊の連山)の冠雪容易に解けず、酒に浸たり女に溺れて何れもストーブを圍んで未だ全く冬營蟄居の域より脱せぬ頃ほい。

……大泊支廳長が切腹したとさ。北海屋の座敷で……と愁うした取沙汰は交通機關の極めて不備なる之の島乍らも事件あつて間も無く殆ど全島の漁村から漁村へと傳はり之を聽き傳へた島の民は網繕ひの手を休め何れも眉宇に魂の暗い表情を見せた。

前後三旬に渉る未決拘留中終日瞑想と讀書に耽つた氏は豫審終結決定の後保釋を得て大泊の北海屋ホテルに假寓中、己が保管金の經理を誤つた事國家に對して申譯なしと氏は一日潮の遠鳴り靜けきホテルの一室氷の如き秘藏の一刀を我れと臍下に凝し無殘や腹一文字に掻き斬つて茲に事實上の慚死をしたのであつた。

その頃のK女は眞岡支廳警務係長Y警部の息女として西海岸唯一の不凍港內地の晩春頃ともなれば移植の櫻花さへ咲くなる眞岡港の山の手近く其處の門にはY T電話〇〇番などの門標ある警務係長り官舍に在つて小さな羅紗製の防寒靴に兎の耳袋、垂げ髮姿も愛らしく坂上なる尋常科へと通つて居たのであつたが物心ついたK女その頃の嘉子には日頃快活なる父が折々襟深く頤を埋めて深い物想ひに沈む傷ましい姿を見ては何事の苦惱であらうかと少女心の小さき胸を傷めて果ては己亦小供にあるまじき物思ひをする樣になつたのである。

『T姿。今でもあのTさんが憎くて／＼し方がないのヨ今でも覺えて居るワ』

久本の端近く記者と向ひ合つた彼は愁う語つて、彼には忘れ得ぬ怨恨の記憶を辿り乍ら記者も面識あるT警部(彼の父の下僚)の事を語つた。

讀者よ本篇緒言の敍述餘りに諄々として聊冗漫に流れた樣であるが茲に於て始めて前記I氏の切腹と彼が父の官界失脚との關係脈絡を語らう。

乃ち前記I氏の自刃によつて部內醜狀の一端はし無くも暴露さるるや上司に於ける之の方面の監視一層嚴密を加へ所謂綱紀肅正を叫ばれた時に於て彼の父と平常職務上反目の間にあつた下僚のT警部は其間何等かの暗中飛躍を試みて溫良恭謙なる彼の父を陷穿せんとした。

……天我れを知るのみと今更不合理なる官界生活に愛想づかしをした彼の父は挂冠して以て一族と共に海陸幾營夜追憶多い故山に還つたのであつた(此項未完)

酒場の女

前田百合子

『れえ山路さん
山路さん聞こえない
それじや隨分薄情よ
返事位は良いじやないの』
女はヤケに酒飲んだ

『馬鹿!
お前ほんとに馬鹿だれ
俺に戀して居るなんて
職も無ければ金もない
飲んだくれの男じやないか
俺のどこが好きなんだ』
男は煙草スいながら
女のヤケ飲みをながめてた

『あら山路さん
あなたも隨分戀人よ
あなたに好いたと何時云つて?
毛程も戀していやしない
それはうぬ惚れ言葉じやないの
あたしあなた大嫌ひ
女はグイ／＼酒飲んだ

『そうかそれがほんとうか
そんなら偉い女だよ
まあそんなに飲むんじやない
ありもしない金なんだ
折角買つた御酒じやないか

『ホ、、、!
だからプロさん大嫌ひ
好きな女に思ふ存分飲ませも出來ず
それで男の意地立つの』

『好きな女!
そんな冗談云ふんじやないよ
お前みたいな多情な女
瞬間的な戀愛なんて
たれが進んで好くもんか

『あら! それは隨分薄情よ
乾度勝つてみせますわ』
女のしとみは淋しいように曇つてた。

島田氏に

木兎莊主人

○昨紙の貴歌に酬ゆ

萱の根の長き月日なわれ書かず親しき君が文も見ざりき

ふとみたる君が便りなつかしみ切り拔かしめてしみしみ吾がみき＼

閑かなる舊正月のつれと有らであわたゞしさは書も讀み得ず

巧みなる筆にゑがかれしと言はなくに庭のふくろふつぶら目して居る

同じ道の爽しき妻に添はれつつみやこな歩む君なしぞ思ふ

庭樹々も芽ぐみて待たむ新妻とおとなひ來ませ木兎莊の春を

時代警語

○自惚と梅毒氣の無いものは無い……(俗諺)

自己の才幹、力りょうの足らぬを知ればこそ人は奮發し邁進もするものであるが、既に己れの才幹力倆を恃むのみ己を以て群を拔くものなどと自負、否うぬ惚れに於ては如何にして奮闘心が起らうか

2月21日

△和氣清麿薨ず(延暦一八)△力士雷電爲右衛門歿す(文政八)△樞密院設置(明治八)△日本農民組合總同盟全日本農民組合の合同決定、名稱は『日本農民組合』△陸軍中將南部辰丙氏死去△英佛の海軍協定原案成る(昭和六)

耐會の今日

○

あんよする事がそれほど嬉しいか、どこ迄も草をふんでゆく子よ

清水信

講談 俠艶 女長兵衛

東京 斯波南叟

(魚崎湖畫)

(一三九)

茲で武平が段々考へて見ると、今度の闇討は馬助を殺す積りでは無い、自分を殺す積りだつたに相違ないと云ふことを悟つた、けれども馬助の殺される時、稍離れて居たから右膳が殺したのか、勘十郎が殺したのか判りません、一ッ右膳が歸つたならば、衣類に血の跡があるか無いか調べて見やう、夫のみならず自分を殺して迄もと云ふやうになつては、是れは容易ならぬ事だから明日になつたらば跡部彦四郎の方へ行つて相談しなくてはならぬと考へ右膳が歸るか／＼と待つてゐたが、其晩は戻らぬ樣子……此方は飯岡右膳一旦は色敵の菅沼勘十郎、死んで終へば政江が眞から勘十郎に靡くといふ心配も拔けろ棄て丶置かうとは思つたが併し生き返つた時默つて居たでは不實を責められる兎も角も一度菅沼の屋敷へ行つて今晩の次第を告げて置かうと、立戻つて菅沼の屋敷へ參ります、まだ御門限には間がありますから、門は締つて居りません 右『タ、大變でござる、大變／＼!』と怒鳴りながら玄關へ飛込む ○『何が大變でござるな』と押つ取り刀で出て來たのは、菅沼の中小姓坂田金次郎と云ふ、二十二三の血氣の若者 右『あツ坂田殿か、只今お茶の水におゐて是々斯樣／＼、手前が一人と組打ちをしてゐるうちに、御前はお茶の水の流れへ打込まれた、早くお出會になつて御詮議下さらなければならぬ』金『イヤ左樣かそれは成程大變だ、然らば飯岡御案內下され』と仲間草履取り三人を引連れ都合五人で一散走りに走つて門の番小屋で何かガヤ／＼人聲がする覗いて見ると菅沼勘十郎、眞ツ裸になつて焚き火で衣類を暖めて居る 金『ヤツ御前が居た!』右『オヽお助かりに成つたか!』一同は門番所へ飛込む門番眼を丸くして 番『各々は何んだ』金『此處にお出なさるのは手前達の主人で!』番『あヽ然うですか水中に落入り難義の樣子だから助けて進せた』金『何とも忝なうございます!』番『サァ／＼此方へ入つて引取つて往きなさるが好い、衣類がビショ濡れだから乾かしてゐるところだ』流石は水戸家の御家來、門番と雖も心得があつて、何方でござるかと名前を聽かない勘十郎も夜中お茶の水へ打込まれたと在つては面目玉を失ふから言はない、無言の行で衣類の生乾きを着る 金『手前羽織を脱ぎます、是れをお召なさいますやう!』勘『主から家來に物を呉れるものだ、家來の衣類を剝いでは……』と云つたが、嚴冬霜こほる夜の事でございます、ブル／＼震ゑて堪まらないから中小姓金次郎の羽織を取つて着る、イヤ早五百石の殿樣も臺なしの次第だ、一先づ一同は菅沼の屋敷へ引上げる。勘『イヤ馬鹿な眞似はするものでない、第一の試し斬りはうまく參つたが、第二はしくじつた、默つて居れば良かつたが、町人と見てムラ／＼と斬りたい心が生じた拔くより早く飛び込まれて不覺を取つたが、全體彼れは何者だつたらう、武士に手向ひ不埒至極』何方が不埒だか分つたものでは在りません、右膳此處ぞと思つたから 右『彼れこそは根岸御行の松に住居致す花井長兵衛人呼んで女長兵衛と申す奴でございます』闇夜で長兵衛だか何だか知れはしないが勘十郎の怒りが激しいので、焚き付ける氣で長兵衛だと云つたのだが何ぞ圖らん夫れが全くの長兵衛であつたのでございます 勘『ナニ、女長兵衛が……イヤ聞きしに優る腕前だ、予は是迄不覺を取つたことは無い、如何なる大敵に逢つても五分／＼の勝負をして來た、夫れが今夜の有樣實に鮮かな手並、豪いな長兵衛は豪いな』酷い目に遭はされて頻りと感心して賞めて居ります。

ラジオ

二十一日[日曜]…

仙臺 JOHK

△前九、〇〇A 氣象通報
△九、一〇A 榮養料理 (白菜和肉…主料理 卸し大根・副料理) 榮養研究所
△九、三〇A (子供の時間) お話 (皆樣に出來る電氣器具) 本間清人
△一〇、〇〇LK 宗教講座 (阿含の聖譬喩) 北畠玄融
△一〇、四〇A 講演
△一一、一〇A 謠曲講座 (謠の道しるべ) 實演…池內信嘉 觀世左近 解說…
△正午 A 時報 氣象通報 今日午後の番組豫告 告知事項
△後〇、三〇A 全國ニュース
△〇、五〇B 筑前琵琶 (平野の最後) 光田旭蟬
△一、二〇PK 俚謠と囃子
△二、〇〇A ニュース
△二、二〇F 箏曲(五段砧
△二、五〇H 民謠
△三、四〇A 氣象通報
△三、五〇 經濟市況
△四、〇〇A ニュース
△六、〇〇A (子供の時間) 三重奏
△六、三〇A 時事講座 (死線に立ちて戰況報道に活躍する人々) 時事新報編輯次長政治部長後藤武男
△七、〇〇A ニュース 氣象通報 告知事項 番組豫告
△七、四〇A 謠曲(籠太鼓)
△八、一〇A 長唄 (綠三番叟)
△八、五〇B ピアノ三重奏
△九、三〇A 時報
△九、三〇C 奉天より (今日の滿洲支那音樂)
△九、〇A 全國ニュース (奉天放送に引續き十五分の豫定) 氣象通報
△一一、〇〇A ニュース

廣告

簡易保險即時金融
失效立替其他御相談に應じます。
平町一丁目一四
鈴木

吉田眼科病院

專門 一般內科
內科ハ何デモ診療致シマス
呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五(電話一八一番)
川井內科診療所
醫學士 川井重之
女醫 川井安子

夜間診療
胃腸 梅毒
內科 十二指腸蟲病 專門 內科部
淋病 皮膚病 婦人病 專門 外科部
松村胃腸性病科醫院
(平南町電話一〇一七番)

風邪せきには是非吸入を!
吸入錠 百錠入 金五拾錢
御家庭で簡單に出來る吸入藥の作り方
◎吸入錠十錠をアルコール瓶一本に水を入れて溶かせばすぐとけます。
一家に一箱御用意を願ます……。
平町二丁目拾六(電話三二六番)
頭痛藥ライトーン
目藥神效水
堀藥局
ハカリクリーム・香水・あづき入洗粉調製
◎香水の見分法
瓶を振つてみて、細かい泡がなるべく長い間消えないでゐるのがよいので泡がすぐ無くなつて了ふのは、アルコールが多い證據です。又、少量を手の甲につけこすつてアルコールをたゝせた後、何アルール臭のこるのはあまりよいことありません。

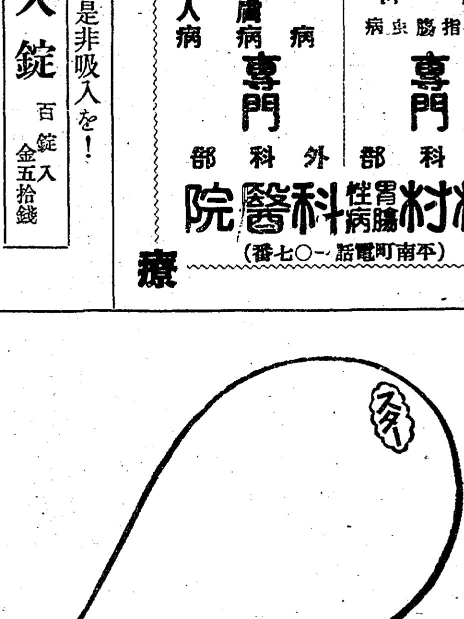
內科、小兒科
外科一般、婦人科
皮膚科、梅毒、淋疾病
市原卯太郎
市原陸郎
市原三三男
平町田町本通
市原醫院 (入院隨意)
電話一一四番

一圓十錢のフランス
マルソー會社元詰
生葡萄酒
マルソー、ブランク
マルソー、ルージ
優良にして安價賣行き飛ぶが如し
平二 西村屋藥店 おはなし三番

外科
內臟外科 整形外科 外科一般
醫學士 松永憲一
產科。婦人科
院長 木村寅次郎
平新川町十九
木村病院
電話一六四番

生花教授
池ノ坊流
生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平町四丁目和泉屋旅館
須藤まつの

ガス入電球ノ値下ゲニ次グ又値下ゲ



十燭以下十二錢…五十燭マデ十八錢
御電話ガアレバ屆ケマス。
平三
大谷時計病院
眼鏡科
電話十九番

淋藥界の最高權威(知名新聞推獎)東京朝日、富士、大阪東京日日、講談大阪
絕對責任藥(二日內服効ナキ時ハ殘藥引替ニ全部即時返金ス。)
商標 岩里
りん病こしけ 別府淋藥
藥價(急性用金參圓、惡性用金五圓)
世界の名湯別府溫泉で名高い。岩里家の家傳秘藥は男女血ウミ、コシケ、淋病、消渇に奇績的効果ありドンナ頑固な淋病でも短時日に根治が出來且つ再發する事絕對になく注射や他藥で治らぬ諸賢は最後の藥として迷はず名藥別府淋藥の御服用により幸福を得られん事を希ふ。

商標 岩里
別府梅毒丸
無效返金
藥價(二號十一日分金參圓 三號廿一日分金五圓 一號七日分金武圓)
天下の名湯別府溫泉岩里家の家傳秘藥に花柳病學の權威獨逸クロベル博士專門博士下山大家の方劑を加味し臨床實驗多年研究の結果完成せる理想的官許製劑完全なる諸毒內掃し
高貴藥 家傳 胃腸妙散 藥價(六日分金參十錢 十三日分金六十錢)
浦上家相傳、秘藥に和漢高貴藥配劑せる絕對的胃腸妙藥なり
製藥發賣元 岩里天然堂(別府市中濱町)
製藥發賣元 小林正効堂 橫濱磯子區磯子町
特約一手販賣 渡邊いと(平町三丁目郵便局裏)

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋
和洋銅物
久 釜屋商店
磐城國平町五丁目
電話九番 九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷は久の生命なり

本社の慰問に對する謝狀一束

117

滿洲から

紫煙漂ふ部屋の中に 冬の深夜を語り合ふ
吹雪荒むハルピンの光景

平町出身 深谷四三郎君

毎度御親切に新聞を御送り下さいまして有り難ふ御座います、何日も貴社から來るのを樂しみにして居るのにも拘はらず少しも禮狀とても書かない私を御許し下さい、承はれば貴社も近日益々御發展の由大慶至極に存じ深く御祝ひ申上げます、降つて小生其後皆々樣御後援の下に

各地に元氣で轉戰して

居ります、二月四日には日支事變突發以來の激戰とも思はれるハルビン攻撃も雨の様に降り來る彈丸の中も負傷せず見事に突發致しました、これも皆々樣の御加護の故と深く感謝して居ります、晴のハルピン入城も今迄の足の痛さもケロりと忘れて元氣よく皇軍

威風堂々と入城致しま

した、又大觀兵式も異國の地で皇軍の威を示す為め歩武堂々と見事に終りました、紀元節には遠く東の故國に王座あらせられる陛下に祈つた時全く感激の涙が流れました、憾あの壯嚴なラッパ君ヶ代の響今思ひ出しても胸がおののきます、休養四五日今はハルピン郊外に在る

支那兵舍の警備を致し

て居ります、支那兵舍と云つても素晴らしく立派なもので寒さを凌ぐには完備して居りますから御安心下さい、寒さは少しも感じません、今日は珍らしく朝から雪が降つて如何にも滿洲獨特の赤い太陽が西の空に沒して紫雲の夕暗が街の隅々に訪れる頃からシベリヤ獨特のひどい吹雪になりました。

廣い市街も吹雪の爲に

人ッ子一人通りません、只凄い吹雪が廣い淋しい街路を荒し廻つて居ります、犬も今宵は靜まり返つて鳴聲もしません。只靜かにハルピンの夜は更けて行きます、でも兵舍の中は皆んな元氣に歌を唱つたり、ハーモニカを吹いたり又懷しい故國へ便りを書いて居る人もあります、あちらの隅では煙草を吹かして

雜談に耽つて笑ひ合つ

て居ります、部屋中煙草の咽が紫色に漂つて又ここは外の吹雪とは別世界の樣に賑かに冬の夜は更けてゆきます、內地ではあの懷しい梅もほころび始めた事でせう、尚國事多難の時貴社には益々邦家の爲御奮勵下さる樣貴社の御發展を祈り上げます、不肖私も及ばず乍ら

邦家の爲盡す考へであ

ります、ではお互に邦家の爲來るべき光明を目指して進みませう。

意義ある舊元日
城頭麗かな旭光を拜す

大浦村出身 古市久太郎君

僕て御承知の今回の哈爾賓附近の戰鬪は中々激戰でした、三、四、五の三日間に亘る戰鬪酷寒嚴しく不眠不休ではありましたが我が皇軍には

敵し難く退却致しま

した、又日頃以來如て逆襲も受けましたが實際へ〳〵支那軍でも馬鹿には出來ません、油斷大敵です、此の戰鬪で我が聯隊の負傷者五十八名、戰死者二十名、して中隊は負傷十四名戰死五名を出した事は誠に殘念とする次第です、又我が同郡出身の者にも澤山の死傷者を出した事は實に殘念です。五日午後完全

敵を撃退

し哈爾賓市街に入城して露鐵公所に宿營し意義ある舊正月元旦を迎へる事が出來ました、我が軍は同地の警備に當つて居ります、その間に貴社の新聞を拜讀し英氣を養つて居ります、今では新聞の手に入るを待ち遠しくして居る有樣です、それもその筈我が郷の有樣を手に取る如く見る事の出來るのも貴社の

慰問の賜と深謝して

居る次第です。（後略）

鳥小屋の收入を

平町月見町[illegible]山野邊己之秋、金成錦美、鈴木勝美の三君は鳥小屋で得た二圓二十錢を恤兵慰問金として本日町役場へ提出した

第二小學兒童 慰問圖書募集

平第二小學校では滿洲兵士慰問の爲兒童より圖書を募集し近く送附すると

福師生徒見學

福島師範本科第一部五年生三十三名は木村教諭、今村訓導に引率され來月一日より五日間濱通り小學校を參觀するが二日は平第二校に於て讀方手工の共同參觀をなし直に豐間校並燈臺を參觀する

奉安庫記念展覽會
來月五六兩日に亘り 平第三小學校で開催

平第三小學校では來月五、六の兩日奉安庫設立記念の展覽會並に學藝會を開催するが同校五年生田中榮太郎少年の右に關する所感文次の如くである

御眞影を拜戴して

昭和七年春二月、我平第三小學校はかしこくも御眞影を拜戴して光榮此上もありません。今や外には滿洲事變起り、國をあげて國難に當つてゐる時御眞影をむかへ奉り、殊に心の引きしまるのをおぼえます。滿洲では度々のげき戰で我忠勇なる兄達も、たく山戰死されたときいてゐます。これ等兄達にかはつて、世に立ち國を守るのは我々新日本少年でありませう、我々少年は此の光榮ある學校で陛下のおそばに近くにゐる心で勉強し、立派な第二の國民となつて、國家の為に戰死された方をなぐさめるやうに心がけねばならないと此の際強く思ひます。さあ、健康第一勉強第一の旗の本に雄々しく進め。

運命を決する玉手箱
暮色蒼然として廿日は行く

三旬に亘り未曾有の激戰を演じかつて見ざる大接戰を見た政戰も今二十日のゴールインとなり十五將星は十九日夜の白兵戰を了へて鉾を收めここに全く戰ひの幕を閉ぢた前夜までの奮戰に各候補者とも選擧事務所本部に暫く振りで疲れを癒やし初めてホッと一息つく、さて各選擧事務所運動員始め政民兩黨員は投票所へと流れる、選擧民の手に秘められた候補者の文字は運を天に任せた候補者の胸に無量に響くと思はれる、午前七時より午後六時まで投票箱の秘める當落の鍵、果して民政絶對多數か、將又政友よく民政の堅壘を崩し得るか、泣くも笑ふもけふに決せらるる二十日は茲に暮色蒼然として終つた、秘められた運命の玉手箱、待ち遠しいその蓋あけではある

言論戰百有九回
舌端火を發した
各候補のベロ戰線

各派共貧乏候補者のオン。パレードだけに一に文書言論戰に主力を傾注し各派の奮戰亂鬪は事實血みどろそのもので演說回數は比佐候補四十三回、鈴木候補三十七回、佐藤候補二十八回、氏家候補一回、計百九回に遂し聽衆は聚樂館に於ける鈴木、比佐兩候補の三千名が最高である

奮闘の—尊い体驗を語る
鈴木辰三郎候補
赤坂翁の應援に感激

政戰開始以來今日まで僅か十七日位なものであるが自分にとつては可なり永いやうな氣がする、それだけ身も心も相當疲れた勝敗は時の運とは言へ一度び馬を陣頭に進めた以上は何でもかでも勝たねばならぬといふ信念と覺悟とを持つ様になるのは候補者として恐らく誰しも持つ共通性なのであらう、第三區は御承知の如く强豪比佐昌平君を向ふに廻し更に氏家、佐藤兩候補の南進に依り稍々挾撃の立場に置かれたので苦戰は一通りではなかつた、併し自分としては自己の平素モットーとする淸濁併せ呑むの精神が報ひられたのが民政黨方面にも多くの支持者が現はれたので此際それを導火線に敵の堅壘を衝いたことは相當效果を齎らしたものと觀察される、夫に北部に於て木村淸治君と南部に於て金成通、安島重三郎、赤坂毅一諸君の献身的努力は今回の勝敗に大きな結果を與へて呉れる事は爭はれぬ事實である、殊に感激に打たれた事は縣議赤坂毅一氏の岳父赤坂亀次郎氏が寒風骨を刺す酷寒にもめげず七十餘歳の老軀を提て吾黨のため遊說行脚に連日を送られた事で唯々其點は涙なしには觀られぬ狀景であつた。其他古川事務長を始めとし其他多數諸君の血の慘むやうな努力に對しても衷心感謝に堪えない次第で斯くまで多數諸君の同情と支援が報えられずして不幸にも落選した場合には是れ皆自己の不明の致す所と諦めるより外に途が無い、併し幸ひにして當選の榮を得た曉は國家國民のため及ばずながら微力を盡す考へである

支那秘話 紅閨密語

在滿洲 HK生 （7）

それは同心結びと云ひ行末長く變らぬ契りを籠めるやうとの迷信からと菩薩花とよばれるところから來てゐる支那の遊廓で樓主を蔭で烏亀と云ひその子を龜の子苦い者（牛太郎）を龜妓とよび龜といふことを極端に嫌忌する代名詞としてゐる

わが國では龜は萬年の壽を保つ芽出度いものだが、支那では忘八（亡八）といふスッポンから聯想して生き物中で一番恥を知らないものとして排斥する

それはスッポンが親子の見さかへなくツルムといふところから恥知らずの代名で支那人同志が喧嘩をする際忘八とか忘八タンとか罵り立てるこれが馬鹿つとド鳴る以上に、先方へはげしい侮辱と罵倒となるのだ大阪から支那へ輸出されたマッチの商標にミノ龜をつけたのがさつぱり販路がなく持ち返されたといふことは當然である。

遣手婆さんは、龜ととよび遊廓で働く男女は徹頭徹尾妓女を喰ひ物にする彼等へこの最大な侮辱詞であるカメを冠せて罵るが一度足を温柔郷里へ踏みこむと反對に最大な敬稱で彼等をよぶ習慣である親類でもないのに老へウなどゝよんで親しみを見せる心理はわが國の遊次郎と變りがない黑ガメと罵るのは樓主の通稱だが相方の妓の前に置くと老師などと、何の先生なのか知らないが體さいのいい事を云ふのが普通である。

棄權は豫想外に少數
正午迄に二千四百六十四票

けふの平町選擧場光景

審判の日は來た、朝來飽く迄澄み切つた早春日和に平町役場では吏員總出で場內の準備を整へ定刻開場すると未明から我こそ一番乘と詰かけた一町目の飯田近治、材木町鈴木勝彌、白銀町加藤正保の諸氏が飛び込んで來て投票を了し朗かな微笑を浮べて出て來るこれに次ぎ次第に增加し既に九時頃には門前市をなし正午迄に白七百八十八、赤七百九十二、紫七百八十四、合計二千四百六十四名の投票が終り棄權は至つて少い模樣である

午後一時現在 二、八四〇

今回の選擧郵便物 引受配達卅萬通
平局の取扱實數

平局で取扱つた選擧郵便物は引受二十四萬一千百通、配達五萬八千二百通で之を前回と比較すれば引受三萬と五百通の增、配達一萬八千八百の減、宛名不明で返戻されたもの二百五十通である

植田の晝火事
昨日三棟丸燒け

植田町大字小濱鈴木善助方から昨十九日正午頃發火住家二棟非住家一棟を全燒した、原因は附近の子供ら四人が同家裏で火遊びしてゐた爲で損害約五百圓である

赤井殺人事件 實地檢證
三判事出張

赤井村大字赤井字鹽田農鈴木清正（三五）に係る殺人事件の實地檢證は來る二十七日午前十時から被告連行三名の證人立會の上中島裁判長關口、竹內兩判事、市川檢事により取調を行ふ

第三校諸催し

平第三小學校では來る二十四日午前十時から四年以上は球技會三年以下は郊外遠足を行ひ二十五日は高學年の童話會を開催する

平補習科終了式

平商業學校補習科の夜學は來る二十七日終了式を擧行するが生徒は約三十名であると

各地情痴ニュース

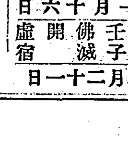
△女給を刺し殺す 名古屋市東區東陽町一丁目東邦ガス會社職工山時清太郎（三〇）は同區入江町三の二、カフエー・マイサロン女給村瀨かづえ（一九）を同家裏手に誘ひ出し短刀で刺し殺し逃走自宅に潛伏中を逮捕された、二人は豫てから情交關係があつたが最近女がつれなくなつた爲である

△緣は異なものね 東京市外入新井町不入斗一五六の待合『初雪』で大森海岸七二藝妓雁太郎こと小林さと（二二）と客の市外大井町一四二四無職雨宮松太郎（四〇）の兩名は猫いらずを嚥んで心中を遂げた、二人はたつた一夜の仲であるが、最近松太郎は長女を、さとは母を失ひ悲觀に暮れてゐる折柄なので互に同情しあつた結果である

△夜這ひ料十圓也 岐阜縣日吉村小栗茂（三四）は同村小栗洵三の妻綾子（三〇）の許へ情交の目的で深夜こそこそと夜這ひに出かけ折柄洵三の不在を好機とさんざ綾子に戯れたが目的を達せずスゴ〳〵と引下つたことを所轄署に探知され御嵩區裁判所で住居侵入罪として罰金十圓也に處せられた

△汁粉屋娘に暴行 東京市外巢鴨二の一六高木汁粉屋方に午後九時頃ドテラを着た三十二三才の男が注文に來て汁粉四杯を届けて呉れと同家の雇女川上きみ（一七）假名―を伴ひ附近の暗闇に差しかかると伴の男は同女を板塀に押しつけ暴行を加へその儘逃走した、急訴により巢鴨署で犯人嚴探中である

△恐ろしい婿養子 岡山縣上道郡御休村大字淺川農前田進が所用より歸宅して見ると娘はる（三〇）が奥の間で短刀を以て突き刺され血みどろになつて絶命してゐたので驚いて所轄署へ屆出た、加害者は同人の婿養子石原公（三〇）で附近の山林中に潛伏してゐるのを逮捕した、原因は痴情



舊一月十六日	日曜
	壬子
	佛滅
	開
	虛宿
二月二十一日	

諸判定應需 東京市本郷區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神誠館

▲一白の人 進む心を抑えて退守の方針を採れば平なり▲二黒の人 順調に運ぶ事と思ひしも意外の障がいに遭ふ▲三碧の人 決斷力を大に奮勵する所あらば榮達す▲四綠の人 警戒しながら闘らず人の談合に乘り迷惑す▲五黄の人 萬事放まんに流れて財盤回復容易ならざる日▲六白の人 辛勞は身に練はる屈せず勵めば成果をみる▲七赤の人 我意專行は失敗を招くの基病厄災難亦警戒▲八白の人 物事は十分ならんと望むよりも八分が安全▲九紫の人 不斷の努力現はれて希望を滿足せしむる日

平町南町 增田耳鼻咽喉醫院 電話四八二番

平町田町 高久病院 （電話五一三番）
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹菊雄
內科 小兒科 外科 花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科

內臟 外科 花柳病 內科一般 外科
入院隨意 自炊の便あり
看護婦募集
安齊外科醫院 平町田町赤心堂病院跡（電話四七五番）

度量衡。計量器。吸入用酸素。酸素吸入器。
關內藥局 電話四〇番

お醬油は……ヤマフル
味噌醬油 たひら正宗 鰹節食料品
鹽屋 山崎合名會社 福島縣平町 電話（營業部一〇番 本店二七番）
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

貸切は●●
親しみあるサービスを以つて知られたる！
尼子タクシーへ
電六四〇番
主任 澤正路

外科專門 X光線科
入院隨意（自炊の便あり）
平町南町
病室完備
上田醫院（電話一二九）